

愛西市生涯学習推進計画（第二次）策定委員会会議録（概要）

会議名	第4回第2次愛西市生涯学習推進計画策定委員会
開催日時	平成30年8月2日（木）午後2時～午後3時
開催場所	愛西市役所 南館 会議室2-5
出席者	別紙のとおり
欠席者	名倉 亨委員、湯澤裕之委員
協議事項	(1) 第2次愛西市生涯学習推進計画策定（案）について (2) その他
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0人
会議資料	次第
審議経過	別紙のとおり

委員名

役職名	氏名	備考
愛西市教育委員会 教育長	平尾 理	
教育委員	水谷 朋和	
愛西市社会教育審議会 会長	水谷 瀧男	
愛西市社会教育審議会 副会長	堀田 喜一郎	委員長
愛西市家庭教育指針連絡協議会 会長	中野 良一郎	
文化協会長	田中 敏光	
スポーツ推進委員 代表	飯田 真由美	
愛西市婦人会長	中村 文子	
愛西市子ども会連絡協議会長	名倉 亨	欠席
愛西市保育園代表	鈴木 智佳子	副委員長
愛西市小学校長代表	宅見 直巳	
愛西市中学校長代表	湯澤 裕之	欠席
公募委員	志知 剛三	
公募委員	伊藤 千里	

事務局

氏名	氏名
大鹿 剛史	伊藤 俊一
伊藤 静	丸山 小百合

発信者	内容（概要）
事務局	<p>ただ今より「第4回第二次愛西市生涯学習推進計画策定委員会」を開催いたします。はじめに、今年度から委員に加わられた方をご紹介します。委員名簿をご覧ください。</p> <p>スポーツ委員代表 飯田真由美様、婦人会長 中村文子様、小学校長代表 宅見直巳様、中学校代表 湯澤裕之様です。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>まず、委員長よりご挨拶申し上げます。</p>
委員長	<p>1. あいさつ （委員長 あいさつ）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。では議事に移りたいと思います。委員長、進行をお願いいたします。</p>
委員長	<p>はい。それでは議事（1）「第2次愛西市生涯学習推進計画策定（案）について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、はじめての方もいらっしゃいますので経過説明いたします。この第2次生涯学習推進計画策定は2年間の作業内容となります。昨年度に調整会議2回、策定委員会3回行われました。その間、市民アンケート、調査・分析をしました。今年度のこの会議は3回を予定しております。昨年の会議とアンケートを基に3つの基本計画を柱として第2次生涯学習推進計画を（案）を策定しました。概要版と冊子について、みなさんのご意見を伺いたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>皆様にはあらかじめご覧いただいていると思いますので、ご意見の方よろしく願いいたします。お一人ずつ順にご意見、ご提案をお願いします。</p>
委員長	<p>まず、意見提案させていただきたいと思います。基本計画の付番を①から1へ表記の変更を提案します。</p>
委員	<p>第1次策定時と第2次策定時の計画背景が大きく変わっていることがよくわかります。ICTやSNSという言葉からわかる様に、情報環境に注目し子どもから大人まで繋がる生涯学習計画となることが、この計画の良い点だと思います。</p>
委員	<p>よい計画としてまとまっていると思います。この概要が活かされるとよいと思います。</p>
委員	<p>愛西市が推進する、生きがいづくり、人づくり、まちづくりの内容を鑑みた計画が立てられており、細かな事については後程質問させていただきます。</p>
委員	<p>市の事業に色々な方面から協力しています。子どもたちから見てみても、少子化の影響で、一小学校で、一スポーツ少年団を構成することが困難となっています。その様な背景からも、成長過程では、世代間交流の経験が必要だと思います。社会教育事業に参加し、様々な体験、交流ができるとよいと思います。</p>
委員	<p>見やすい、わかり易い計画としてまとまっていると思いました。アンケートの結果として市民の声を取り入れた、愛西市としての生涯学習推進計画となっていることが良いと思います。</p>
委員	<p>愛西市を変えよう、改革しようという意欲が伝わってきます。市の高齢化が進んでいることから、この人材に注目し、活用する生涯学習推進計画となればよいと感じました。人材バンクも取り込んであり、さらに充実するように期待します。今年のジュニアコンサートがとてもレベルの高いコンサートとなっていました。このコ</p>

委員	ンサートを周知して交流に繋げていくきっかけとなればよいのではないかと感じておりました。
委員	地区の格差があるのではないかと。立田地区、八開地区に関してはジュニアコンサートのような事業を開催できる会場がない。その様な事業に気軽に触れる機会も少ない様に思われます。ぜひ、地区、地域の交流、横のつながりができるような、指導ができるような愛西市となってもらいたいです。
委員	生涯学習推進計画には、スポーツ推進計画も踏まえた計画にしていかなくてはいけないと思います。他にも多くの計画があるかと思えます。実践できるように考えていかなければならないと思います。 また、体育協会、文化協会はじめ既存の団体も高齢化しており、若い世代が交わって組織されることが少なくなっている。交わるのではなく、若者の団体を徐々に増やし繋がっていきける事を目指すべきではないか。今、取り組んできた事業の検証をして次に進んで行ってほしい。
委員	計画の作成の難しさを感じています。平成31年という表記ですが、新元号の切り替えが決まっているので、完成して間もなく古い計画の様な印象を与えかねないので、少し工夫をしてみてもどうでしょうか。
委員長	何か、他にご意見等ありましたらお願いいたします。
委員	文章の中にコミュニティーセンターが、地区と地域防災がついており、表現が異なっておりますが統一した方がよいのではないのでしょうか。
事務局	わかり易いように、統一してコミュニティーセンターといたします。
委員	生涯学習の新しい考え方として今は、文部科学省の第1部局と位置づけられています。学校と地域の関係の考え方の中で、高齢化という視点で捉えられることが多いが、反面は少子化がとても問題となっています。子どもたちにスポットを当てないといけない。子どもたちの視点から考えた計画としていってはどうでしょうか。 情報化社会であるので、パソコン、SNSをうまく利用して情報提供してかなければいけないと思いました。この推進計画を具現化できるようにしていきたい。
委員長	みなさんの貴重なご意見、提案を集約していただいて、市の元となる計画に沿って、市として統一のある計画としていきたいと思えます。
事務局	この計画の中で数値目標を出しております。この数値目標は適正かどうか検証していただきたい。 文面の統一し、表現も整えていきます。
委員	生涯学習への30代参加率の目標値が高すぎるのではないかと。
事務局	数値目標の中では、生涯学習講座・教室の参加者数の数値目標のみ、市の総合計画の数値として掲げています。その中で、若い子育て世代の参加者を増やしたいという希望がありましたので数値目標として掲げました。再度検証いたします。

委員	土曜キラリ☆学習、チャレンジ☆学習については、参加者を増やすのではなく、知っている人を増やしたいのはなぜか。
事務局	参加対象の保護者への周知はできているが、市民への事業周知が不足しており、子どもたちへ地域ぐるみで育てていく事業を行っている事を周知することにより、さらに多くの市民の方がこの事業へ協力してもらえると繋がると考えています。
委員	学校現場の中でも色々な支援を必要としている事は多いです。そのため、地域の方々と学校現場のつながりができると良いと考えます。
委員長	多くのご意見、提案いただきましたので事務局で精査して、計画を作成していただきたいと思います。事務局何かありますか。
事務局	今後の予定は添付しました、スケジュール表のとおり進めていきます。 1月に策定会議を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。
委員長	では、事務局は作成するのに大変な事務量になると思いますがよろしくお願いいたします。 これにて、会議を終了いたします。